

研修報告

日時：令和5年1月14日・15日

PECSレベル1ワークショップ～教育へのピラミッドアプローチを基に～

○PECSとは

Picture Exchange Communication System

絵カード交換式コミュニケーションシステム

○対象

- ・機能的なコミュニケーションをする？
 - ・コミュニケーションを自発する？
 - ・コミュニケーションの相手が理解できる？
 - ・年齢にあった語彙と文法を使っている？
- ➡ 1つでもあてはまれば対象

○拡大・代替コミュニケーション（AAC）

・代替コミュニケーション

発語がまだ出ていない、または失われてしまった時に、コミュニケーションとして使われる機器や方法、システム

・拡大コミュニケーション

発語を補うために使われる機器や方法、システム



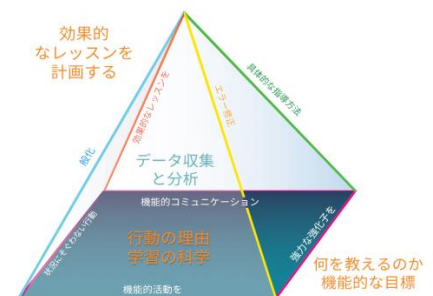
PECSはどちらとしても使うことが出来る

PECSを実践する事は発語をあきらめることではない

PECSを実践していく中で発語を促していく

○教育へのピラミッドアプローチ

- ・効果的な教育環境を作る
- ・広範囲にわたる、そして機能的な（使える）行動分析
- ・モチベーションと機能的であるという観点をブレンドし、コミュニケーションに焦点を置いたもの



○PECSを始める準備

- ・強力な強化子を見つけ出す（最低でも5つ）
学習者のモチベーションをあげるもの、日頃どんなものを持っているかなど
学習者を観察、アセスメントする事が大事！！
- ・教材を準備する
絵カードは名称も記載し支援者に伝わりやすいようにしておく
- ・コミュニケーションを無効にしない
ニーズを先回りして満たしてあげない
学習者の代わりに“話さない”
学習者がコミュニケーションできると思い込む
- ・コミュニケーションの機会を作り出して捉える

○PECSの6つのフェイズ

<p>フェイズI コミュニケーションの 仕方</p> <ul style="list-style-type: none">・自発的要求・2人制のプロンプト手続き・カードをつかむ、手を伸ばす、手渡す		<p>フェイズII 距離と持続性</p> <ul style="list-style-type: none">・コミュニケーションパートナーへの移動・PECSブックを持ち運ぶ・障害要因（障害）を乗り越える粘り強さ	
<p>フェイズIIIA 単純な弁別</p> <ul style="list-style-type: none">・とってほしいもの vs. 好きでないもの・1/2秒ルール・4ステップエラー修正手続き		<p>フェイズIIIB 条件性弁別</p> <ul style="list-style-type: none">・対応チェック・4ステップエラー修正手続き・ブックの中からカードを探す	
<p>フェイズIV 文構成</p> <ul style="list-style-type: none">・文構成と文カードの交換・バックステップエラー修正手続き・一定時間遅延プロンプト		<p>属性語 叙述の語彙</p> <ul style="list-style-type: none">・特定のアイテムを要求する・大きさ、色、形など・動作を表す言葉	
<p>フェイズV 応答的要求</p> <ul style="list-style-type: none">・自発的な要求を維持する・漸進的時間遅延		<p>フェイズVI コメント</p> <ul style="list-style-type: none">・応答的なコメント・述語カードの弁別・自発的なコメント	



©2012, Pyramid Educational Consultants

“FLEX your PECS!”

○最後に

- ・効果的な指導環境はコミュニケーションを育成する
- ・誰もが皆効果的なコミュニケーションシステムを利用する権利を持っている
- ・効果的なコミュニケーション＝状況にそぐわない行動の減少